

「PMSの重要性、役割と責任、違反時に予想される結果1」

※PMS:個人情報保護マネジメントシステム

当社(株式会社同窓会事務局の代表は浅本寧枝です)

1. 当社におけるPMSの重要性

PMSの運用が JISQ15001 規格に適合していると P マーク認定事業者として認められます。

取り扱う個人情報を適切に運用する為に PMS は、実際にそれに則した運用を行うことが大事です。

P マークの認定を受ける利点は

- ①Pマークを示すことにより個人情報を適切に取り扱っている事をお客様に知らしめることができます
- ②PMSはJISQ15001を基準に構築運用されるので、PMSを適切に運用していることは、個人情報保護法を遵守していることとなります。
- ③PMSの運用を外部団体によって実地に審査認定を受けることにより、高い信頼度を得ることができます。
- ④上記3項目により有利な営業活動ができます。

2. 当社におけるPMSの運用上の役割及び責任

①経営者(社長)

- ・個人情報保護方針を定め監査報告及び環境を鑑みて、PMSを適切に維持する為に、年1回以上PMSを見直す。
- ・個人情報保護方針を従業員へ知らせる。

②個人情報管理責任者(兼内部監査責任者)

- ・PMSの実施及び運用に関し、責任をおいます。
- ・年2回以上PMSの実施に必要な教育を計画し実施します。
- ・年1回以上PMSの実施に必要な監査を計画し実施します。
- ・監査で問題が発見された場合当該部門に対し是正指示を行います。
- ・監査報告を経営者に報告し、見直しするための情報を提供します。
- ・個人情報に関する苦情、問い合わせの対応、指示を行います。

③一般従業員

- ・個人情報に関する苦情、問い合わせの対応を行い、結果を個人情報管理責任者へ報告します。
- ・PMS(法令、細則)に従い個人情報の保護管理のために注意を払い業務を行います。
- ・定期的な教育を受けPMSを理解します。
- ・監査等により是正指示を受けた場合は速やかに指示に従い是正します。

④在宅作業員

- ・定期的な教育を受け個人情報の取り扱いに対し注意をはらいます。

3. 当社PMSに違反した場合に予想される結果

当社PMSに違反し不適切な個人情報の取扱いにより、個人情報の漏洩や紛失等の事故が発生した場合

- ①従業員本人に対して就業規則により譴責・減給・懲戒解雇・損害賠償等の罰則が起こえます。
- ②経営者にたいしては、6ヶ月以下の懲役又は30万円以内の罰金が科せられる場合があります。
- ③会社へは
 - ・事故対応の為に必要となる損害費用が発生します。
 - ・問い合わせが殺到し、業務効率が大きく低下します。
 - ・社会的信用が低下し、今後の営業活動および既存の顧客離れが発生します。